

Monthly

vol. 02

# Social Kitchen

21世紀の公民館「ソーシャル・キッチン」がお届けする月刊新聞

## 「公民館」てなんだ!?



### 社会教育法における公民館

Social Kitchen (ソーシャル・キッチン) は民営の21世紀型公民館を目指す! といってみたりしていますが、そもそも「公民館」ってなんでしょう? このMonthly Social Kitchenで考えてみたいと思います。

まず「公民館」を規定している社会教育法第22条を見ていきましょう。

#### 〈公民館の概要〉

「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする(社会教育法第20条)。



#### 〈公民館の事業〉

公民館は、目的達成のために、おおむね、次に掲げる事業を行う(社会教育法第22条本文)。

- ① 定期講座を開設すること。
- ② 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。
- ③ 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- ④ 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- ⑤ 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- ⑥ その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

#### 〈公民館の運営方針〉

公民館は、公共の施設であることから、次の行為を行ってはならない(社会教育法第23条第1項参照)。

- ① もっぱら営利を目的として事業を行い、特定の営利事業に公民館の名称を利用させその他営利事業を援助すること。
- ② 特定の政党の利害に関する事業を行い、または公私の選挙に関し、特定の候補者を支持すること。

また、市町村の設置する公民館は、特定の宗教を支持し、または特定の教派、宗派若しくは教団を支援してはならない(社会教育法第23条第2項)。

## Social Kitchenの考える公民館

なるほど。公民館の概要と事業は、ソーシャル・キッチンで思い描いているのとはほぼ一緒です。なんでもありな雑多性（いいかげんさ？）が公民館という場所の良さですね。

公民館の運営方針で言えば、ここは大幅に異なってきます。ソーシャル・キッチンには喫茶機能がついているし、2階スペースもレンタルしています。それは、この場所を運営することで、私たちが最低限生きていける小さな経済の基盤を作りたいと考えているからです。それから、2つめの項目は保留。日本では、公的施設でもそうですが、ここで想定されているような政党政治を排除しようとするあまり、大小の「政治」が私たちの身体や生活と全く無関係になってしまったのではないかと？という問題意識があります。むしろ政治的、社会的なトピックや活動に積極的に関わる場所でありたいので、それが結果的に特定の候補者を支持することに繋がってもいいと考えています。



### 「私的」な人がつくる「公的」な場所

「公民館」を「public and private center (公的で私的なセンター)」として考えられるのではないかと、というアイデアを聞きました。「公民館」の「民」という言葉が「人々」であると同時に「私的」という意味も含みえるという指摘は、なるほどと思いました。「私的」な人たちが集まってつくる公的なセンター。勝手に解釈すると、「私的」な人間が集まることでできあがった場所であっても、ある一定数の「私的」な人たちが運営に直接的、間接的に参加することで「公的」性格を持ちうる。こう考えることで、「私的」な人たちが持ち込んでくるいろんな表現（極端なものや少数的



なものも含め）や新しい経済のあり方、ライフスタイルに関するアイデアを紹介することができるんじゃないか、という期待があります。そういう「私的」な表現やアイデアに対して、他の「私的」な人から、「そんなアイデア面白くない!」とか「偏りすぎてる!」という反応が出てくるかもしれません。その時は、匿名の電話やメールによる脅しではなく、反論や別のアイデアをプレゼンテーションしたらいいと思うんです。この一連のやり取りが起こることで「公」の要素を持ちうるのではないかと思います。「公」的であることと、中途半端な「中立性」や、非政治的なあり様は全く別物じゃないかと思います。



### ご近所さんの参加を待っています!

いろいろややこしく書きましたが、簡単にいうと、近所に住む皆さんが、「こんなやりたいでー」とか「こういう催しをしてほしい」というふうに、たくさんのアイデアや意見を持ち込める場所になれば、面白くなるな—と思っています。そして政治的、社会的云々ということに関して言えば、Social Kitchenでは音楽イベントも展覧会もありますが、自分たちの生活や社会に関わること（この辺りの景観問題のこと、自衛隊のこと、沖縄のこと等々を含め）めんどくさく話したり、その解決に向けたアクションが生まれる場になればと考えています。



■お問い合わせ・アイデアの持込は  
Social Kitchen (ソーシャル・キッチン)  
TEL : 075-201-1430  
Mail : info@hanareproject.net

〈台所大学〉

## ■ 勉強会：アートと社会運動の公共性」vol.3

Grant H. Kester著「Conversation Pieces: Community and Communication in Modern Art」第2章を読む。

- 日 時：10月20日(水) 20:00～
- 参加費：無料(資料のコピー代は実費)
- 連絡先：picasom@hotmail.co.jp
- 企 画：遠藤水城、中村史子
- 詳 細：<http://picasom.exblog.jp/>

〈秋のデンマーク企画第1弾・レクチャー&amp;ディスカッション〉

## ■ デンマーク人の環境にやさしくて、健康的なライフスタイル

- 講 師：福田成美 (インダストリアルデザイナー、在コペンハーゲン)
- 日 時：10月21日(木) 19:00～21:00
- 料 金：1,000円(お金に余裕のない方)、1,500円(お金に少し余裕のある方)  
※自己申告制
- 連絡先：dandelion869@ybb.ne.jp  
070-5650-0769 (大関はるか)

■ 脱! 肥満と飢餓～食卓から私と世界を変える  
佐久間智子 × 平賀緑 × 松平尚也

10月16日は世界食料デー、10月は世界食料デー月間です。世界中で国際機関やNGOが協力し様々なイベントが行われます。世界では10億人が飢える一方、10億人が肥満に苦しんでいます。なぜそのような事が起こるのでしょうか? ゲストに佐久間智子さんと平賀緑さんを迎えてその原因とカラクリに迫ります。



- 日 時：10月23日(土) 14:00～16:00
- 料 金：500円+カンパ
- 主 催：NPO法人AMネット <http://am-net.seesaa.net/>
- 連絡先：amnetosaka@yahoo.co.jp

〈台所音楽〉

## ■ marihiko hara, Polar M, W solo live

- 出 演：marihiko hara & Polar M
  - 日 時：10月24日(日) ライブは19:00～(開場18:00)
  - 料 金：1,500円(1ドリンク付き) ※展覧会は無料
- ※ライブ前には、1日のみの展覧会(13:00～17:00)を開催しています。

## ■ 比嘉豊光の写真と映像と声

沖縄の映像とはなにか。はっきりなしに発生する社会的事件のニュース映像? 豊かな自然を捉えた写真? そこに住む人の性格や豊かな生活がにじみでているような映像? こういったステレオタイプは、消費に慣れたものだけが持っている。消費に慣れることと無関心さは紙一重。沖縄をステレオタイプ的に消費すること、「まあそこには基地があってもしょうがないね」としておくことは、ほぼ同じ態度の別の表れかた。したがって沖縄の写真や映像は、常に美学的かつ政治的なものである。それを理解するのに比嘉豊光はどうやってつけの人間はいない。彼のすべてを受け止め、それに応える準備をしてきてほしい。レッツ、コール・アンド・レスポンス。そうしたら彼の沖縄と、あなたの日本は、共に複数化する。

【第1部】映像上映

- ◎ 18:00～19:20 「ナナムイ第1章 神歌編」(80分、2003年、DVD)
- ◎ 19:30～20:30 「鳥クツバで語る戦世 —900人の記憶—」(60分、2007年、DVD)

【第2部】トーク 20:40～22:00

- 日 時：10月28日(木) 18:00～22:00
- 料 金：1,000円

※今回の上映会+トークは長いし、混乱したり、格闘したり、受け止めるのに時間がかかったりするかもしれません。だからこそ、沢山のひととその時間を共有できたらと考えています。

〈台所音楽〉

## ■ テニスコートと梅田哲也

- 日 時：10月31日(日) 17:00～(16:00開場)
- 料 金：2,000円(1ドリンク付き)



〈ひらく会議〉

■ We dance 2011と神戸  
—アジア・コンテンポラリーダンス・フェスティバル#2(仮)をディレクターと話す

今年には横浜と神戸で開催されるダンスフェスティバルのディレクターを務める4人のディレクターが京都に集います。それぞれ全く異なるバックグラウンドを持つ4人のアーティストが見ているダンスとは何でしょうか。演劇・ダンス・パフォーマンスの未来を見据えるために、来場者を交えたトークセッションを開催します。ありとあらゆる分野の方々の参加を心待ちにしています。



- 出 演：きたまり、振子びじん、篠田千明、塚原悠也
- 日 時：11月9日(火) 19:00～21:00
- 料 金：500円

## ■ 相談会

サラ金や消費者金融からの借金で困っている人で、お金がなくて相談できていない人のために、対面/電話相談に応じます。専門業務に関わる部分についてお答えできない場合は、専門家を紹介することができます。当日直接ソーシャル・キッチンにお越しただくか、時間内に075-201-1430(ソーシャル・キッチン)までお電話ください。相談員は、現在この分野を勉強中です。

- 日 時：11月10日(水) 18:00～21:00
- 料 金：無料

## ■ パフォーマンスワークショップ

映画や舞台を製作しているパストリオが、11月27日(土)公演の舞台「インディアンは嘘つかない/The Indian doesn't tell a lie.」に向けて、出演者のパフォーマンスワークショップオーディションを開催します。演劇経験、年齢不問!



- 日 時：11月12日(金)・13日(土) 18:00～21:00
- 料 金：1,000円
- 詳 細：<http://busstrio.com/>

## 日本は沖縄からの独立を

先日、沖縄那覇市の若狭公民館で働く、宮城潤さんがソーシャル・キッチンに来てくれました。宮城さんが若狭公民館で実施してきたプロジェクトは、ソーシャル・キッチンを運営する私たちにとっても、参考にしていきたい素晴らしいものです。沖縄の公民館事情は相当刺激的なのでそれもまた紹介したいですが、このニュースでは少し違う視点を。

宮城さんと公民館やアートについて延々8時間ほど話していた時に、沖縄と日本についての話になりました。その中で頭に残っているのが、沖縄では「日本は早く沖縄から独立してほしい」と言われていると聞いたことです。沖縄が日本から独立するのではなく、日本が沖縄から独立する。それはどういうことなのでしょうか？

沖縄の人に基地の負担を押し付けながら、「しょうがない」と思い、知らん顔をしている私たち。

もしくは、キレイで温かくて、美味しい沖縄を消費しつくす私たち。沖縄の人にとったら、「いい加減にせい！ 沖縄に頼らず早く独り立ちをしてください！」となっているのだと思います。日本がちゃんと沖縄から独立するために、この考えが出てくる背景について想いを巡らせ、またどういふアクションがあるのか考えていきたいと思います。

ちょうど、10月28日（木）に比嘉豊光さん（写真家／映像作家）を招いて「比嘉豊光の写真と映像と声」と題した上映会とトークをソーシャル・キッチンでおこないます。「ナナムイ第1章 神歌編」、「島クトウバで語る戦世 —900人の記憶—」を上映後、比嘉さんによる写真と映像作品についてのトークもあります。

※詳細は全ページイベント欄をみてください。



## Social-Kitchen-Cafe

暑くもなく、寒くもなく、とっても気持ちのいい季節になりました。お昼間、ソーシャル・キッチンのカフェには気持ちのいい光が入ってきます。ゆっくり静かに本や新聞を読んだり、おしゃべり好きな私たちと話しに、お立ち寄りください。サンドウィッチや野菜たっぷりのランチプレート、コーヒー、紅茶、チャイ、ホットレモン、ホットジンジャーなど、お腹がふくれて、これからの季節、身体があったまるものを用意しています。集まる人や行われる催し、時間帯によって、毎日雰囲気が変わります。いろんなSocial Kitchenを体験してみてください。お待ちしております。



● 本日の定食	800円	● コーヒー	450円	● ホットジンジャー	450円
● 日替わりサンドウィッチ	500円	● カフェオレ	500円	● ホットレモネード	450円
● スープランチプレート	800円	● 紅茶	400円	● ビール	500円
● 卵の酢醤油漬	350円	● チャイ	500円	● ハウスワイン	400円
● へしことレモン	350円	● 番茶	200円	● 自家製梅酒	500円
● ひよこ豆のペーストと季節野菜	700円	● 本日のケーキ	300円	● ホットワイン	500円
● アンチョビとニンニクのソースと季節野菜	700円	● クッキーなど焼き菓子			ほか
● 豚と鶏レバーのバテ	850円				
● ゆで豚・葉野菜・酢みそ	800円				

こんなメニューがあったらうれしい！という提案もお待ちしております

カフェ臨時休業のお知らせ

10/29（金）17時以降と10/30（土）終日のカフェ営業はお休みします。※両日とも、2・3Fは通常通りオープンしています

## Social Kitchen 公民館+台所 (ソーシャル・キッチン)

### ■ 1F Café & NOT PILLAR BOOKS

Social Kitchenの心臓部として、朗らかで気持ちのいい場所、人が集い、会話や議論が生まれる場所です。保存食を中心にしたメニューで、近郊農家と信頼できる小売店から材料を仕入れています。世界や日本の面白い印刷物を販売するNOT PILLAR BOOKSの売り場もあります。(営業時間：水～日曜日 14:00～23:00 ※22:00 ラストオーダー)

### ■ 2F Space

誰でもレンタルできます。ミーティング、ダンス公演、勉強会、展覧会、音楽イベント、集会、レクチャー&ワークショップ、政治討論会、卓球(?)、子育てサークル等。アイデアがある人は、ひとまずご連絡ください。(使用可能時間：水曜日～日曜日 11:00～23:00)

### ■ 3F Share Office

デザイナーやプログラマー達が日々仕事をしています。

京都市上京区相国寺門前町699 ○営業時間14:00～23:00 ○月・火定休 ○TEL 075-201-1430 ○info@hanareproject.net

www.hanareproject.net

